

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

目に見える報酬と目に見えない報酬 田坂 広志 (ソフィアバンク代表、多摩大学大学院教授)

1. 明けない夜などなく、この世界的不況も必ず終わる。だが、そのときの資本主義の姿は、これまでとは違っているはずだ。今は、その大きなパラダイム転換の最中だ。その一つが、「ボランティア経済」と呼ばれる経済原理の復活だ。ボランティア経済とは、金銭的な充足ではなく精神的な満足を求めて行われる経済のことだが、家事や育児、地域の互助や治安など、人類の歴史のなかでずっと存在し、社会を陰で支えてきた経済原理だ。
2. そうした互助の経済は、貨幣経済（マネタリー経済）の隆盛の陰で、しばらく見失われていた。しかし、インターネット革命によって、このボランティア経済が急激に勢いを強め復活してきている。この経済の潮流が、社会起業家が続々生まれている背景にある。言い換えれば、「仕事の報酬とは何か」ということ。目に見える報酬としては「給料」や「役職」があるが、それだけではない。「働きがいのある仕事」そのものが報酬といえる。また、仕事を通して「職業人としての能力」を磨けることも、仕事における苦勞を通じて得られる「人間としての成長」も、報酬の一つだ。この社会起業家たちのモチベーションは、これらの「目に見えない報酬」にある。
3. これまでの資本主義では、企業の目的は「利益を上げること」とされてきた。それに対し、社会貢献を究極の目的として掲げるのが社会起業家だ。
(参考：「週刊ダイヤモンド」2009年4月11日号)

ワンポイント経営アドバイス

小さな変化を積み重ねる

1. 「米国流」や「最新手法」に振り回されると、経済の活力が弱まっていく。自分の事業や規模など身の丈に合う経営モデルが強さを生む。バーコードなど自動認識システム総合メーカーであるサトー（本社東京都）は、「三行提報」と呼ぶ独自の社員提案制度がある。今や経営の浮沈にかかわる重要な仕掛けとなっている。
2. 仕掛けは、3行127字の範囲で、身の回りで気づいたことや、その改善案を社内システムに打ち込んで提出する。ミソは全社員が1日たりとも欠かさず出さなければならないこと。サボれば昇進の道は断たれる。宛先はすべてトップである。トップは50件前後までふるいにかけて中から、目を引いた提案に対して自らコメントを添えて返信する。原型は30年以前にできたが、小さな変化を積み重ねていくと、大きな変化につながっていくのだ。
(参考：「日経ビジネス」：2009年4月20日号)

新規成長分野

3人乗り自転車の販売解禁

1. 自転車は、節約、健康といった現代人のニーズに合致している。そのため自転車通勤者が最近増えている模様である。国内の自転車業界の市場規模は約2600億円、年間販売台数は約1100万台と試算される。1990年以降、中国製の安い輸入自転車に押され、国内生産は減少してきた。一方、国内のメーカーは、高価格の電動アシスト自転車の生産にシフトしている。その国内出荷台数は、昨年30万台を超え、原付バイク1種の台数を上回った。
2. 業界は販売拡大に追い風となり得る二つのイベント効果を期待できる状況にある。一つは、昨年12月1日に電動アシスト自転車のアシスト比率の基準が改正された。これにより、外回り営業担当者がいる企業、自治体などが導入することも考えられる。もう一つは、6歳未満の幼児2人を乗せる3人乗り自転車の販売解禁である。3人乗り自転車のニーズはある。対象となる6歳未満の幼児2人以上いる世帯は、110万以上存在する模様である。
(参考：「野村週報」2009年6月22日号)

古典に学ぶ

慎独について

「古来独り慎むということが大切にされていますが、慎独とは、ある意味では性欲を慎むところに、その最上の基盤があると言ってもよいでしょう。この問題を正面から、しかも深い立場から解き明かしたものは、貝原益軒の『養生訓』を外にしては、ほとんど絶無と言ってよいでしょう」

(参考：森信三「修身教授録抄」：致知出版社)